

コラボヘルスにおける事業所との Pep Up データの共有・活用について

大和ハウス工業健康保険組合（以下「組合」という。）と大和ハウス工業健康保険組合加入事業所（以下「事業所」という。）は、組合と事業所との連携（コラボヘルス）により、効率的かつ効果的な健康増進及び健康経営を推進するため、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。）第27条第5項第3号の規定に基づき、Pep Up データを組合と事業所で健康課題の改善施策を講じる等「被保険者の健康寿命の延伸」を目的に、以下のとおり共有・活用します。

1. 目的

組合と事業所の健康課題解決に向けた適切なアプローチを実施し、健康経営の推進及び被保険者の健康管理・維持・増進を図ることを目的とする。

2. 共同推進

1の目的を達成するため組合及び事業所は、共同で実施する次に掲げる事項について、各々の事業を推進する。

- （1）登録状況の共有による登録・利用勧奨
- （2）ウォーキングラリーデータ等の共有による健康づくりの推進
- （3）日々の記録データ等の共有による健康課題対策・支援
- （4）健康年齢の共有による健康づくりの推進
- （5）二次健診結果入力内容の共同利用

3. 留意事項

利用目的を健康経営の推進及び被保険者の健康管理・維持・増進に限定する。

情報の取り扱いについては、個人情報保護法その他の関連法令の規定に基づき十分に注意を払う。

なお、共同して利用するデータの項目、提供方法、提供時期その他、定めのない事項については、双方協議のうえ別途定めるものとする。

4. 費用負担

組合及び事業所は、各々実施する事業にかかる費用を負担することとし、別途定める場合を除き、双方の間に費用の精算は発生しない。

5. その他

- (1) 事業所は組合に対して、事業所管理画面の管理者アカウント作成及びデータの提供を受ける者（以下「利用者」という。）がPep Up上の被保険者の個人データを共同利用し、取り扱うことができる正当な権限を有すること、及び事業所で定め公表した当該個人データが利用目的の範囲内で取り扱われることを表明し、保証する。

事業所は、上記の表明保証に反し、または適用法令に違反して利用者が当該個人データを取り扱ったことに起因して組合に生じた一切の損害を補償する。